

令和元年度 東京都立大学法人 業務実績評価（素案）からの主な修正（案）

資料1

【全体評価】

No.	頁	該当箇所	評価素案	修正案	修正理由
1		四角囲み	(優れた点・特色ある点 1つ目の・) ・東京都立大学では、博士後期課程の活性化に向けて、大学院キャリア教育科目や博士研究員制度の導入など様々な取組を推進した結果、定員充足率が改善する等、優れた成果を上げている点が高く評価できる。	(優れた点・特色ある点 1つ目の・) ・東京都立大学では、大学院博士後期課程の活性化に向けて、平成29年度より大学院キャリア科目や博士研究員制度の導入など様々な取組を推進した結果、定員充足率が平成28年度の0.72から令和元年度の1.04へと大きく改善した点が高く評価できる。	説明追加 表現の見直し
2	(優れた点・特色ある点 2つ目の・) ・東京都立産業技術大学院大学では、研究科再編等による社会のニーズに応える教育改革の取組が順調に進行していることに加え、ロールモデル集の活用、企業訪問、ウェブによる情報発信、単位バンク制度を活用した入試などの学生確保の取組が功を奏しており、志願者が着実に増加している点が高く評価できる。		(優れた点・特色ある点 2つ目の・) ・東京都立産業技術大学院大学では、研究科再編等の社会のニーズに応える教育改革の取組が順調に進行していることに加え、ロールモデル集の活用、企業訪問、ウェブによる情報発信、単位バンク制度を活用した入試などの学生確保の取組が功を奏しており、志願者が平成28年度(4月入学)の0.94倍から令和2年度(4月入学)の1.67倍へと大幅に増加している点が高く評価できる。	説明追加 表現の見直し	
3	(改善すべき点 1つ目の・) ・大学院入試問題漏えい等は個人に帰す特殊な事案であるかもしれないが、「事故」ではなく「事件」である。詳細な原因分析と全学的な再発防止策を策定することは当然であり、これをもって法人コンプライアンスの確保・向上に向けた組織的な取組体制を整備された「成果」として位置づけるのではなく、再発防止策に取り組み、公平・公正な大学院入試を徹底すること。		(改善すべき点 1つ目の・) ・東京都立大学で発生した大学院入試問題漏えいについては、極めて憂慮すべきことであり、再発防止に努める必要がある。既に詳細な原因分析を行い、再発防止策を策定しているが、公平・公正な入学者選抜の実施に向け、取組を徹底されたい。	表現の見直し	
4	(改善すべき点 2つ目の・) ・情報セキュリティ事故が複数の機関において、複数件発生するのは由々しき問題である。事故が生じた状況、要因に適切に対応した形で、引き続き、再発防止を徹底されたい。		(改善すべき点 2つ目の・) ・情報セキュリティ事故が複数の機関において発生したことは由々しき問題である。メール誤送信防止ソフトの導入やセキュリティ研修の実施など、セキュリティ対策を徹底されたい。なお、セキュリティ研修の未受講者に対しては、アカウントの停止などペナルティを含む厳格な対処により、対策の実効性を担保されたい。	説明追加 表現の見直し	
5		1 総評	(【東京都立大学】2つ目の・) ・科学研究費補助金(挑戦的研究種目を除く)の新規採択率30%の達成に向けて取り組んだ結果、前年度の27.6%から本年度は34.1%へと大幅に増加した。	(【東京都立大学】2つ目の・) ・科学研究費補助金の新規採択率の向上に向けて、組織的に申請書類の作成支援等を行ったことにより、新規採択率(「挑戦的研究」を除く)は、平成30年度の27.6%から令和元年度の34.1%へと大幅に向上している。	説明追加 表現の見直し
6	(【東京都立大学】3つ目の・) ・学習意欲の高いシニアへ体系的なカリキュラムを提供するTMUプレミアム・カレッジを開講し、一期生53名全員が一年間の課程を修了した。更に、36名が新たに設置した専攻科に進学することとなるなど、シニアの学ぶ意欲に応える新たな学びの場として高く評価される。		(【東京都立大学】3つ目の・) ・プレミアム・カレッジを開講し、学習意欲の高いシニアへ体系的なカリキュラムを提供している。また、令和2年度の本科入試では、募集人員を大きく上回る出願を得るとともに、2年目も学び続けられる専攻科に本科修了生53名のうち36名が応募するなど、プレミアム・カレッジに対する期待や満足度の高さが伺える。	表現の見直し	
7	(【東京都立大学】4つ目の・) ・研究センターの外部資金獲得額が、昨年度から大きく減少し、中期計画の目標として掲げた金額からも大きく下回っている。原因の検証を十分に行うとともに、改善に向けた更なる取組を望む。		(【東京都立大学】4つ目の・) ・都立大の強みや特色を有する国際的研究拠点の形成を目指す研究センターについて、外部資金獲得額が平成30年度から大きく減少し、中期計画の目標として掲げた金額からも大きく下回っている。外部資金の獲得は研究を充実・発展させていく上で極めて重要であることから、目標達成に向けた取組の強化を望む。	ヒアリング等を踏まえた表現の見直し	
8	(【東京都立産業技術大学院大学】2つ目の・) ・独自に取り組んでいるPBL教育を中心にアジア諸国等の大学との交流・連携を着実に発展させている。中小企業振興等の政策課題にも対応するなど、都政や地域振興にも貢献している。		(【東京都立産業技術大学院大学】2つ目の・) ・グローバルに活躍できる人材の育成に向け、産技大の特色であるPBL教育をアジア諸国の大学等と連携して実施し、大学関係者のみならず政府機関や研究所が参加する会合で政策提言を行った。	説明追加 表現の見直し	
9	2 中期目標の達成に向けた課題、法人への要望など	(1つ目の・) ・令和2年4月からの名称変更にあたり、令和元年度はその準備とPRが行われたが、これで、長年の課題である知名度・存在感の向上が解決されるわけではない。その課題克服の絶好のチャンスは続いていると考えられるので、改めて、その教育、研究に関するPR強化を通じて、2大学1高専各校の人気を高めていくことが望まれる。	(1つ目の・) ・令和2年度からの大学・法人の名称変更に当たり、令和元年度はその準備とPRが行われたが、これで、長年の課題であるプレゼンス及び認知度が飛躍的に向上したわけではない。今後も引き続き、教育研究に関する情報発信の取組を強化していくことが望まれる。	表現の見直し	
10		(3つ目の・) ・新型コロナウイルス感染症の影響下で、グローバル化に関する取組をはじめ、中期計画の目標達成に向けた取組の推進が困難な項目があるが、現場の教職員に過度な負担がかかることなく、学生と教職員の健康と安全、安心を最優先に据えた基本的な教育研究活動、社会貢献活動を維持することを原則とした法人運営に取り組まれた。	(3つ目の・) ・新型コロナウイルスの影響下で、グローバル化に関する指標をはじめ、達成が困難な中期計画の目標があるが、現場の教職員に過度な負担をかけることなく、学生と教職員の健康と安全安心を最優先に据えた法人運営に取り組まれた。	表現の見直し	

(No.1～4は、「1 総評」の同項目でも同様の修正あり)

【項目別評価】

●東京都立大学

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
1		I 1 教育に関する目標を達成するための措置	1	(優れた点・特色ある点) 【大項目1】ルーブリック評価について、基礎ゼミナールのモデルルーブリックを令和2年度から活用できるように準備するとともに、新たに理学部生命科学科、都市環境学部環境応用化学科、大学教育センターの3部局においてもルーブリック評価を取り入れた。	(優れた点・特色ある点) 【大項目1】ルーブリック評価について、基礎ゼミナールのモデルルーブリックを令和2年度から活用できるように準備するとともに、新たに理学部生命科学科、都市環境学部環境応用化学科及び大学教育センターの3部局においてもルーブリック評価を取り入れた特色ある取組を開始した。	表現の見直し
2	2		(優れた点・特色ある点) 【大項目2】教育改革にIRが有効に活用され、様々な学修データを分析すると共に、過去のデータ分析も加えて、全学的な教育改善に向けて取り組んでいる。	(優れた点・特色ある点) 【大項目2】教学IRについては、学内の運営委員会や部局からの依頼を受けて分析を行い、データ分析に基づく教育改善に取り組んでおり、十分に機能している。	表現の見直し	
3	3		(優れた点・特色ある点) 【大項目2】博士後期課程の活性化に向けて、大学院キャリア科目の開講等、当初予定されていた取組を全て完了しており、定員充足率が1.04に回復している。	(優れた点・特色ある点) 【大項目2】大学院キャリア科目の設置による多様なキャリアパスへの意識付け、博士研究員・専門研究員制度の導入による研究支援など、大学院博士後期課程の活性化に向けて精力的に取り組む、博士後期課程の定員充足率は1.04に達している。	説明追加 表現の見直し	
4	4		(優れた点・特色ある点) 【大項目3】FD活動について、各部局でのFDセミナーが8回に増加するなどして、セミナーの参加者は昨年度に引き続き300人を超えており、部局でも取組が推進されている。	(優れた点・特色ある点) 【大項目3】FD関連セミナーの参加者が昨年度に引き続き300人を超えており、全学的に取組が推進されている。	表現の見直し	
5	5		(改善すべき点) ・学生定期健康診断の受診率は87.9%まで向上したが、目標の90%までは、なかなか届かない。学生に健康診断の意義を十分に理解してもらい活動をお願いしたい。	(更なる充実が期待される点) 【大項目4】学生定期健康診断の受診率は87.9%まで向上したが、未受診の学生が健康診断の意義を十分に理解できるような働きかけを更に強化し、中期計画の目標の受診率90%の達成に努めることを期待する。	表現の見直し 内容の見直し	
6	6		(優れた点・特色ある点) 【大項目5】近年における大学説明会への来場者の増加は顕著なものであり、令和元年度は前年度よりも約3000名も増加している。こうした状況において、日時や会場の調整によってキャパシティオーバーに適宜対応しながら、入試制度の情報提供が広く行われている。	(優れた点・特色ある点) 【大項目5】大学説明会について、前年度より参加者数が3,000人増える中、日時や会場の調整によってキャパシティオーバーに対応しながら円滑に説明会を実施し、入試制度等の情報提供を広く行った。	表現の見直し	
7	7	I 2 研究に関する目標を達成するための措置	6	(優れた点・特色ある点) 【大項目6】本年度の被引用度トップ10%論文の割合は過去5ヶ年平均では11.9%であり、高水準であった。	(優れた点・特色ある点) 【大項目6】基礎研究のレベルが高いことを反映して、被引用度トップ10%論文割合は過去5ヶ年平均で11.9%と高水準で、国際共著論文の割合も44.7%と中期計画の目標の33%を大きく上回っている。	表現の見直し (統合)
8	8		(優れた点・特色ある点) 【大項目6】国際共著論文の割合は44.7%で、第三期中期計画における目標<33%以上>を大きく上回っている。			
9	9		(改善すべき点) 【大項目6】研究センターの外部資金獲得額が、昨年度から大きく減少し、中期計画の目標として掲げた金額からも大きく下回っている。原因の検証を十分に行うとともに、改善に向けた更なる取組を望む。	(改善すべき点) 【大項目6】研究センターの外部資金獲得額が、平成30年度から大きく減少し、中期計画の目標からも大きく下回っている。外部資金の獲得は研究を充実・発展させていく上で極めて重要であることから、目標達成に向けた取組の強化を望む。	ヒアリング等を踏まえた表現の見直し	
10	10		(更なる充実が期待される点) 【大項目7】国際的研究拠点の形成を目指す研究センターは多様な研究者が研究に取り組める組織として、中期計画期間で外国人研究者の比率を30%とする計画を掲げている。平成30年度は14.3%だったが、令和元年度は19.2%と上昇しているが、更なる努力を期待する。	(更なる充実が期待される点) 【大項目7】研究センターの外国人研究者比率は、平成30年度の14.3%から令和元年度の19.2%へと向上しているが、中期計画の目標の30%に向け、更なる取組を期待する。	表現の見直し	

令和元年度 東京都立大学法人 業務実績評価（素案）からの主な修正（案）

資料1

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
11		I 3 社会との連携や 社会貢献等に 関する目標を達成 するための措置	8	(優れた点・特色ある点) 【大項目8】都民に対する障がい者スポーツの理解促進に向けて、体験型のイベントを積極的に開催するとともに、体験教室ごとに対象者層を絞るなど工夫を行うことにより、多数の参加者を得た。	(優れた点・特色ある点) 【大項目8】都民に対する障がい者スポーツの理解促進に向けて、体験型のイベントを積極的に開催するとともに、体験教室ごとに主な対象者層を設定するなど工夫を行うことにより、多数の参加者を得た。	表現の見直し
12	10		9	(優れた点・特色ある点) 【大項目9】TMUプレミアム・カレッジを開講し、学習意欲の高いシニアへ体系的なカリキュラムを提供した。令和2年度の本科の入試では募集人数を大きく上回る出願者を得た。さらに、2年目も学び続けられる専攻科を設置し、カレッジへの満足度が高い。	(優れた点・特色ある点) 【大項目9】プレミアム・カレッジを開講し、学習意欲の高いシニアへ体系的なカリキュラムを提供している。	分離 表現の見直し
13	11				(優れた点・特色ある点) 【大項目9】プレミアム・カレッジの令和2年度の本科入試では、募集人員を大きく上回る出願を得るとともに、2年目も学び続けられる専攻科に本科修了生53名のうち36名が応募するなど、プレミアム・カレッジに対する期待や満足度の高さが伺える。	
14	10, 11	I 4 グローバル化に 関する目標を達成 するための措置	10	(更なる充実が期待される点) 【大項目10】海外留学等派遣者数について、昨年度と比較して、短期の人数は変わらないが、長期、中期の人数がいずれも減少している。新型コロナウイルスの影響により、留学が難しい状況も予想されるが、留学に対する学生の関心が高まっていることも踏まえ、留学時期を見据えながらの長期的な支援等が行われることが期待される。	(更なる充実が期待される点) 【大項目10】海外留学等派遣者数について、平成30年度と比較して、特に長期、中期の人数が減少している。留学に対する更なる支援を期待する。	表現の見直し
15				(改善すべき点) 【大項目10】新型コロナウイルスの影響もあり、留学生受入れの数値目標900人は達成困難な見込みであるため、今後は、留学生生活満足度等、「質」の向上に取り組まなければならない。	(更なる充実が期待される点) 【大項目10】受入留学生については、人数の目標のみならず、受入国の多様化や、受入留学生の生活満足度等、質の向上にも取り組むことを期待する。	ヒアリング等を踏まえた内容の見直し

●東京都立産業技術大学院大学

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
16	11, 12	II 1 教育に関する目標を達成するための措置	13	(改善すべき点) 【大項目13】教育・研究における都立大・高専との連携が望まれて中期計画の大きな柱となっていながら、進展が鈍いように見える。そもそも、その連携を企画することに無理があるのか、現場では効果があまりないと考えられているのか、理由は不明であるが、この目標を、実質的に再検討しなければならないのではないか。産技大主導ではなく、法人主導でないか、その見直しも出来ないテーマであると思われる。	(「参考意見書」の【大項目31】の参考意見に移行・修正)	ヒアリング等を踏まえた内容の見直し
17	12		17	(更なる充実が期待される点) 【大項目17】専攻横断型の研究所を更に活用し、研究成果の社会への還元を積極的に進め、社会のニーズに応えていくことを期待する。	(更なる充実が期待される点) 【大項目17】学際的な研究所を更に活用し、研究成果の社会への還元を積極的に進め、社会のニーズに応えるとともに、産業界との連携も活かして研究を進展させていくことを期待する。	表現の見直し
18		II 3 社会との連携や 社会貢献等に 関する目標を達成 するための措置	18	(優れた点・特色ある点) 都や区市町村等との連携による講座やイベント等を通じて、中小企業振興等の政策課題に対するシンクタンク機能を発揮し、産技大教員の知見をPRするにとどまらず、中小企業振興や技術支援に貢献している。	(優れた点・特色ある点) 【大項目18】都や区市町村等との連携による講座やイベント等を通じて、中小企業振興等の政策課題に対するシンクタンク機能を発揮している。	表現の見直し
19	12, 13		19	(優れた点・特色ある点) 【大項目19】社会人の学びやすさを考慮して、より短期間に初歩から応用まで学べる履修証明プログラムとして、AIITシニアスタートアッププログラムを開講した。	(優れた点・特色ある点) 【大項目19】起業のための高レベルの知識・スキルの修得を目指すAIITシニアスタートアッププログラムを開講した。	表現の見直し
20				(更なる充実が期待される点) 【大項目19】専門職コミュニティ形成促進のためのAIITマンスリーフォーラムについて、回数・参加者が、平成29年度19回991人、平成30年度18回985人、令和元年度13回693人と減少傾向にある。大学の知名度・存在感の向上のためには意義深い活動と思われるので、今後の取組に期待したい。	(更なる充実が期待される点) 【大項目19】AIITマンスリーフォーラムについて、回数・参加者が、平成29年度以降、減少傾向にある。専門職コミュニティ形成促進のためにも、今後の取組に期待する。	表現の見直し
21	13	II 4 グローバル化に 関する目標を達成 するための措置	20	(優れた点・特色ある点) 【大項目20】グローバル人材の育成を目指し、グローバルPBLについて公募を実施し、採択された教員は学生と共に、アジア諸国を訪ね、大学人のみならず政府機関や研究所の参加する会合で、政策提案を行っている。	(優れた点・特色ある点) 【大項目20】グローバルに活躍できる人材の育成に向け、産技大の特色であるPBL教育をアジア諸国の大学等と連携して実施し、大学関係者のみならず政府機関や研究所が参加する会合で政策提言を行った。	表現の見直し

令和元年度 東京都立大学法人 業務実績評価（素案）からの主な修正（案）

資料1

●東京都立産業技術高等専門学校

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
22		III 1 教育に関する目標を達成するための措置	21	(優れた点・特色ある点) 【大項目21】課題発見・解決型の実践的な教育により、創造的な技術者を育成するためにアクティブ・ラーニングの推進に向けた環境整備に取組み、外部講師を迎えての研修や実際の科目でアクティブ・ラーニング授業を展開している。	(優れた点・特色ある点) 【大項目21】実習設備の整備や科目の増設・外部講師を迎えての研修実施など、アクティブ・ラーニングの推進に向けて取り組んでいる。	表現の見直し
23	13, 14		24	—	(優れた点・特色ある点) 【大項目24】学生の就職率・進学率は非常に高く、キャリア支援体制が機能している。	追加
24			—	—	(更なる充実が期待される点) 【大項目24】今後、女子学生の進路指導を充実させることも含め、キャリア支援体制の更なる強化を期待する。	追加
25			25	—	(優れた点・特色ある点) 【大項目25】入学志願者は、推薦入試、一般入試共に例年より増加しており、積極的な広報活動の成果が表われている。	追加
26		III 4 グローバル化に関する目標を達成するための措置	29	(優れた点・特色ある点) 【大項目29】グローバル・コミュニケーション・プログラムは30人、インターナショナル・エデュケーション・プログラムは40人の計70人が海外体験プログラムに参加しており、中期計画の目標人数を達成している。滞在日数を1日延長して、現地での活動前に現地の日系企業で日本人社員による研修を行う等、プログラムの効果を高める取組が行われている。	(優れた点・特色ある点) 【大項目29】産技高専の学生を主体とする70名の学生が参加して実施された2つの海外体験プログラムでは、現地日系企業での研修機会を設けるなど、プログラム効果を高める取組が行われており、グローバル人材を目指す学生のモチベーション向上が図られている。	表現の見直し
27	15		(参考意見) 【大項目29】中期計画【3-05】で、海外体験プログラムの参加者は【毎年度70人】とする、とのことである。平成29年度、平成30年度、令和元年度共に、70人の参加、ということである。もし、要件、能力を充たす応募者が、この人数をかなり上回っているが、予算上その他の理由で、厳しい選考になっているということであれば、この70名の枠自体を増やすことを検討しても良いのではないかと、目玉のプログラムでもあり、学生の意欲を育てることを重視したい。	(更なる充実が期待される点) 【大項目29】2つの海外体験プログラムについて、海外で活躍できる技術者の養成を強化する観点から、より多くの学生が参加できるプログラムへと発展させることが望ましい。	ヒアリング等を踏まえた内容の見直し	

●法人運営等

No.	頁	該当箇所	大項目	評価素案	修正案	修正理由
28	15, 16, 17	IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	30	(改善すべき点) 【大項目30】大学院入試問題漏えい等は個人に帰す特殊な事案であるかもしれないが、「事故」ではなく「事件」である。詳細な原因分析と全学的な再発防止策を策定することは当然であり、これをもって法人コンプライアンスの確保・向上に向けた組織的な取組体制が整備されたこと「成果」として位置づけるのではなく、再発防止策に取り組み、公平・公正な大学院入試を徹底すること。	(改善すべき点) 【大項目30】都立大で発生した大学院入試問題漏えいについては、既に詳細な原因分析を行い、再発防止策を策定しているが、公平・公正な入学者選抜の実施に向け、取組を徹底されたい。	表現の見直し
29			31	(優れた点・特色ある点) 【大項目31】2大学1高専の新たな連携のあり方を検討するため、各校職員によるWGを立ち上げて検討を開始し、取組(案)を取りまとめた。	(優れた点・特色ある点) 【大項目31】2大学1高専の職員によるワーキンググループの立ち上げ等を通じて、各校の新たな連携の在り方に関する今後の中長期的な目標と取組案を取りまとめた。	表現の見直し
30	15, 16, 17	V 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	33	(更なる充実が期待される点) 【大項目33】学校の規模から考えると寄附金の件数及び金額は、共に多くない。法人名、大学名が変わったことも追い風として、継続的・追加的な取組が望まれる。	(更なる充実が期待される点) 【大項目33】大学の規模から考えると、寄附金の件数及び金額は十分とは言えない。名称変更を契機として、更なる取組の推進を期待する。	表現の見直し
31	15, 16, 17	VII その他業務運に関する重要目標を達成するための措置	35	(更なる充実が期待される点) 【大項目35】研究活動における不正行為や研究費不正使用の防止に向けた取組として、eラーニングによる講習会が行なわれているが、研究倫理教育及び研究費不正使用防止に関する研修とも教員の受講率は98%である。本来、教育研究者である教員の受講率は100%であるべきである。受講率100%を目指していただきたい。	(更なる充実が期待される点) 【大項目35】研究コンプライアンス研修の教員の受講率が98%であるが、今後、100%を目指して取り組まれない。	表現の見直し
32			(改善すべき点) 【大項目35】情報セキュリティ事故が複数の機関において、複数件発生するのは由々しき問題である。情報セキュリティ対策として、対策ソフト等の整備・更新、eラーニングの未受講者に対する直接的な催促、未受講者に対するアカウントの一時停止の検討など、厳格な対処によって全体的な意識向上を図ろうとしているが、事故が生じた状況、要因に適切に対応した形で、引き続き、再発防止を徹底されたい。	(改善すべき点) 【大項目35】情報セキュリティについては、メール誤送信防止ソフトの導入やセキュリティ研修の実施など、セキュリティ対策を徹底されたい。なお、セキュリティ研修の未受講者に対しては、アカウントの停止などペナルティを含む厳格な対処により、対策の実効性を担保されたい。	表現の見直し	